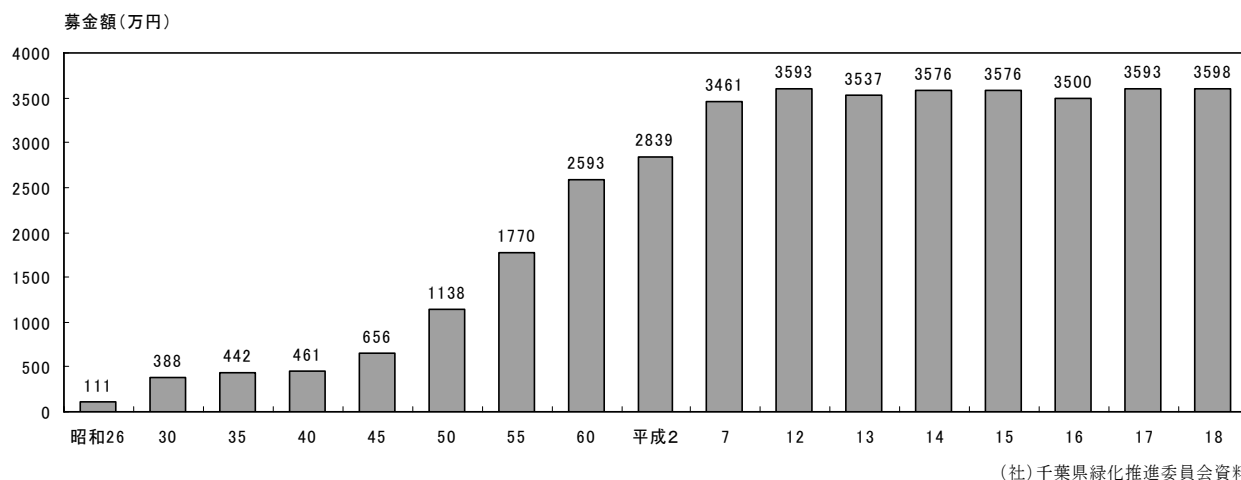


8. 環境緑化

緑の募金実績



—県民参加の緑づくりを進める—

森林に代表されるみどりは、その恵みを通じて私たちの暮らしをさまざまな面から支えてくれており、県民のみどりに対する関心やニーズは大きな高まりを見せている。

このようななか、みどりづくりへの県民参加の重要性について普及・啓発を図るため、県と社団法人千葉県緑化推進委員会は、全国緑化キャンペーン期間中（3/1～5/31）の「みどりの週間（4/23～4/29）」や「みどりの日（4/29）」に多彩な行事を展開している。

また、戦後の山林の復興を目標に昭和26年から始まった緑の羽根募金は、平成7年度制定された緑の募金法により「緑の募金」に引き継がれ、平成18年募金実績は35,977千円で、寄せられた募金は、各種の緑化事業に役立てられている。

9. 里山活動

「千葉県里山の保全、整備及び活用の促進に関する条例（里山条例）」に基づく里山活動を促進するため多様な取り組みを行ってきた結果、里山活動協定の認定件数は平成18年度末現在で73件、対象となる里山の面積は約112ヘクタールとなった。

また、「里山条例」に定められた「里山の日」の行事として、第3回里山フェスティバルを5月の里山月間中に開催し、県民の間に広く里山活動への関心及び理解を深めるとともに、積極的に里山活動に参加する意識の高揚に努めた。

この期間中には、「里山とゴミ」をテーマに八千代市で開催された市民団体によるシンポジウムや県内6箇所で実施した里山体験に多くの県民が参加し、県民の里山活動についての理解を深めることができた。

里山活動の推進母体である「ちば里山センター」では、里山活動団体のネットワークを構築するとともに技術講習会や里山1日活動体験などのイベントの開催、里山相談や「ちば里山新聞」の発行などの事業を行い、里山活動団体の支援と県民の里山活動への参加を促進した。

また、土地所有者による管理が困難となった里山の情報を収集し、里山情報バンクを通して里山活動団体などに提供している。